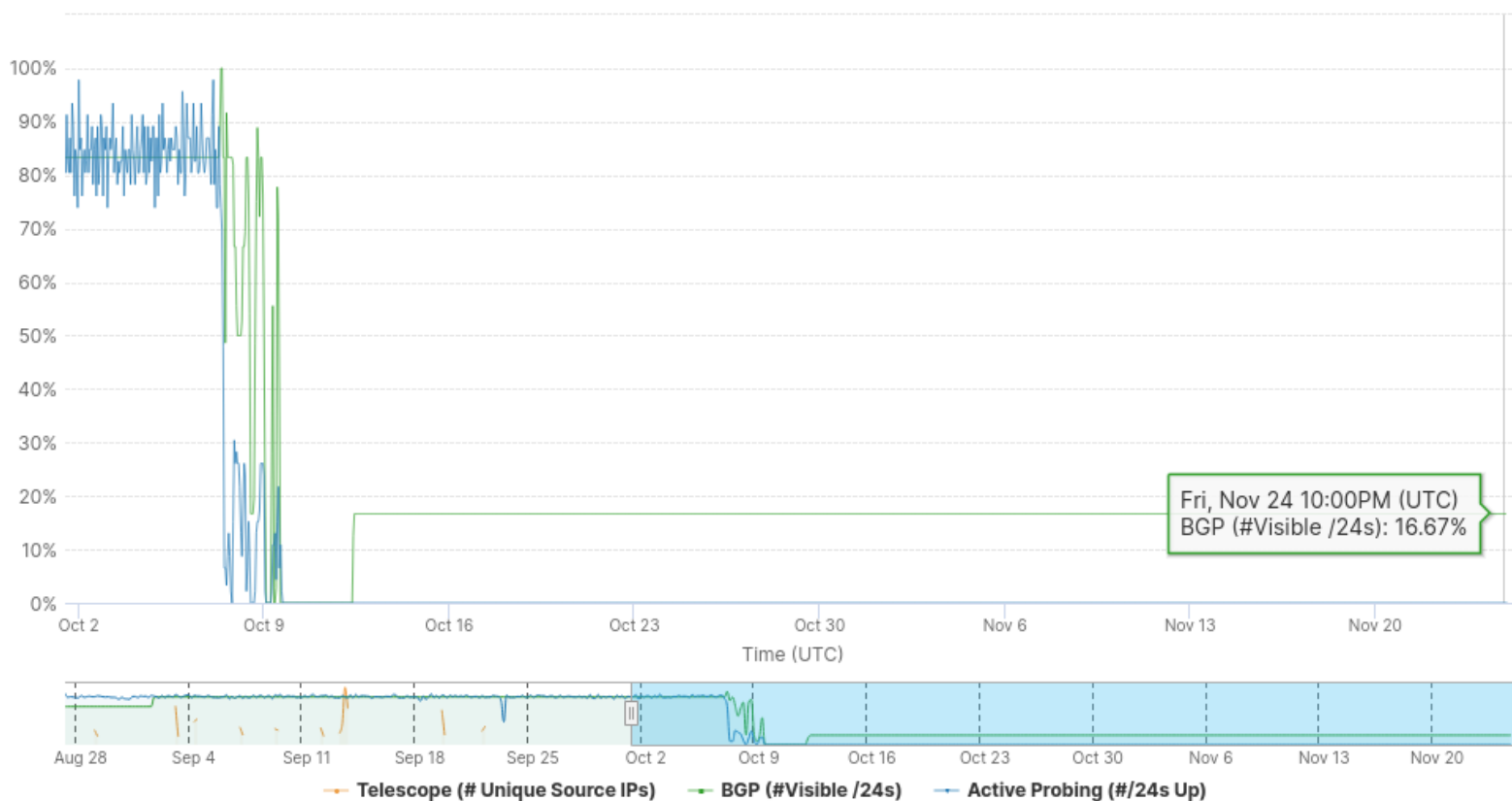
パレスチナとインターネット—情報遮断と情報戦

2023/11/25

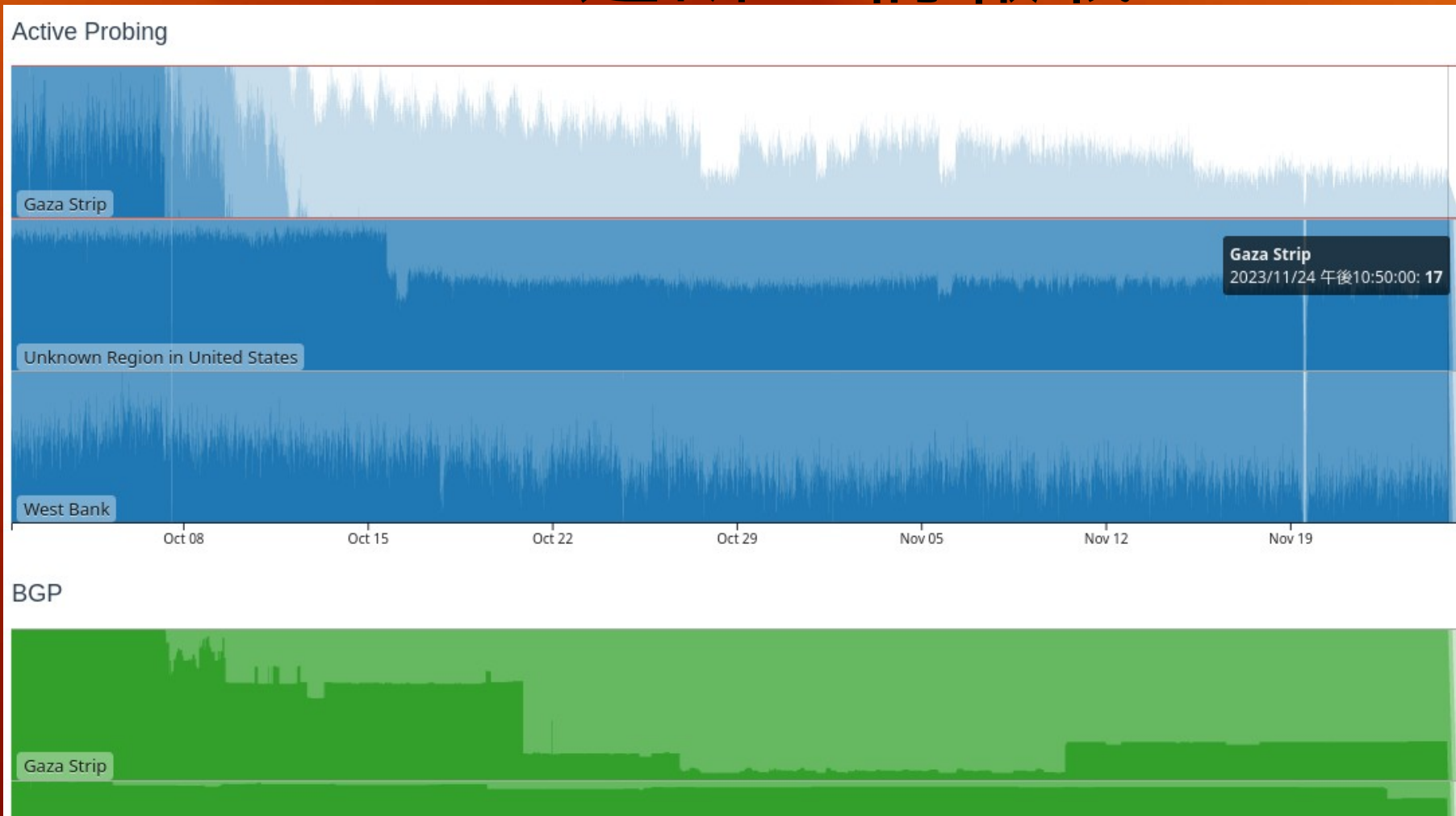
小倉利丸
JCA-NET

パレスチナとインターネット―情報遮断と情報戦

- 最新の状況 (Access Now のニュースレター)
- パレスチナとインターネット―情報遮断と情報戦
- ガザの状況 イスラエル軍に同行する主要マスメディアの報道の問題
- ヘイトスピーチ、偽情報、イスラエルの政策
- 対抗行動
- JCA-NET のキャンペーン
  ガザ・パレスチナの人々のコミュニケーションの権利を支援しよう

パレスチナとインターネット情報遮断と情報戦

戦争の開始とともに急激にアクセス不能状況に

https://ioda.inetintel.cc.gatech.edu/asn/60268?from=1696160246&until=1700825846

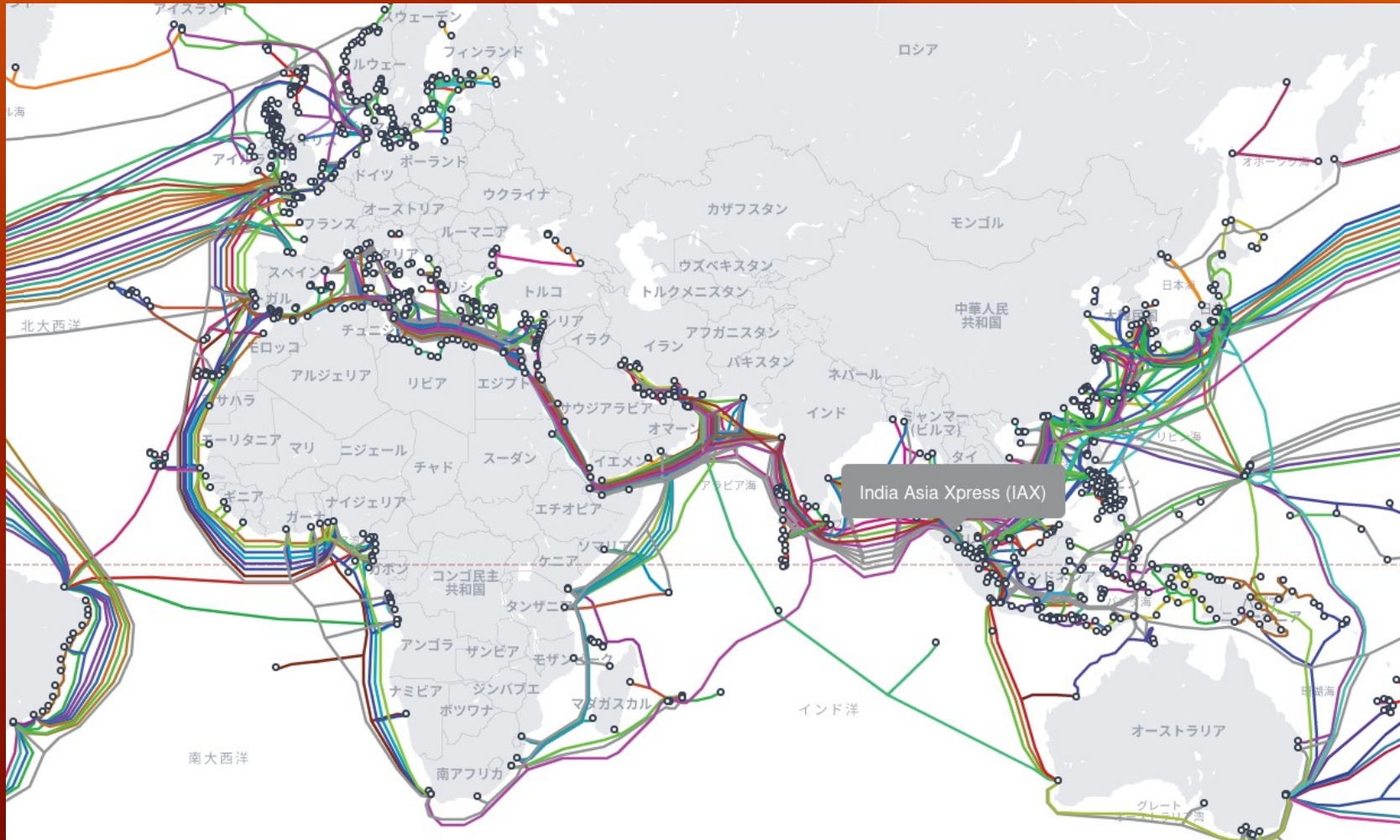
パレスチナとインターネット情報遮断と情報戦

- Active probing:HTTP プロトコルを利用した通信によってインターネットアクセス可否を判定
- BGP メトリック： ISP などの相互接続時にお互いの経路情報をやり取りするために使われる経路制御プロトコル。これらのネットワークがインターネットへの告知を停止した場合、障害が発生した可能性がある。

https://jpwinsup.github.io/blog/2021/04/13/Networking/NCSI/NoInternetAccessforWindows10/

パレスチナとインターネット─情報遮断と情報戦

世界の海底ケ＝ブルの地図

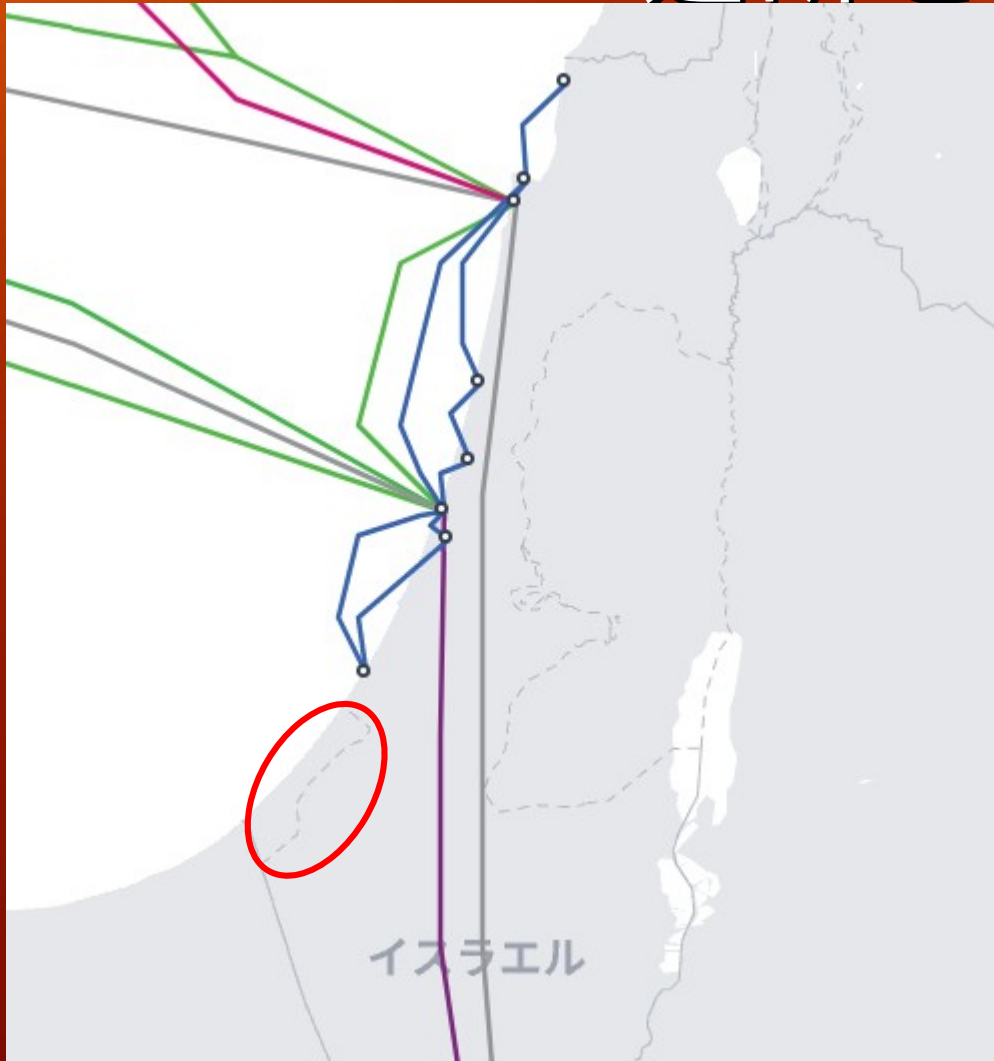
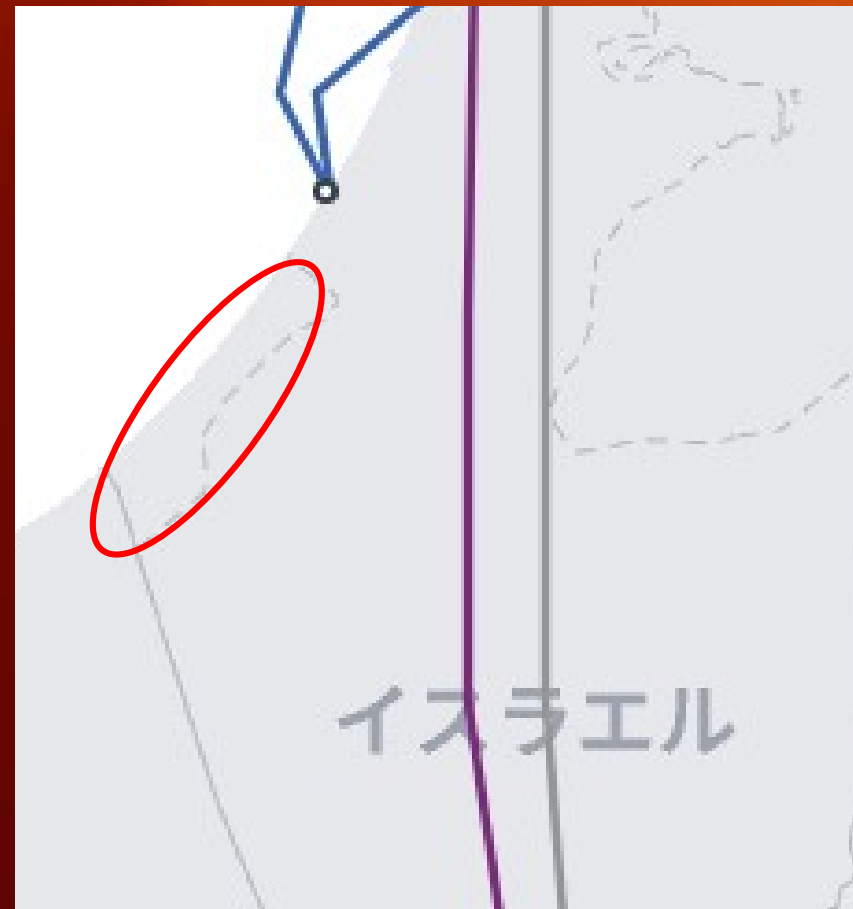
https://www.submarinecablemap.com/

世界の海底ケーブルの敷設位置が一目でわかる世界地図「Submarine Cable Map」

https://gigazine.net/news/20210205-submarine-cable-map/

パレスチナとインターネット一情報遮断と情報戦

世界の海底ケ＝ブルの地図

https://www.submarinecablemap.com/

世界の海底ケーブルの敷設位置が一目でわかる世界地図「 Submarine Cable Map 」

https://gigazine.net/news/20210205-submarine-cable-map/

Access Now のニュースレターから最近の動向

Meta(Facebook、 Instagram など) は憎しみから利益を得るのをやめるべきだ

•パレスチナ人は、オフラインでもオンラインでも差別と非人間化に直面し続けている。Facebook が Free Gaza Movement の共同設立者の暗殺を呼びかける広告を許可した後、 7amleh-The Arab Center for Social Media Advancement は、有料広告における反パレスチナ・ヘイトスピーチを禁止するメタの能力をテストし、悲惨な結果を得た。同プラットフォームは、アラブ人やパレスチナ人に対するヘブライ語のヘイトスピーチをフィーチャーした 19 の広告を速やかに承認した。 Meta のコンテンツモデレーションポリシーが、パレスチナ人の期待を裏切っているだけでなく、 Meta がヘイトからお金を稼ぐことを許していることを示している。 7amleh で続きを読む (日本語) 7amleh で続きを読む(日本語)

•パレスチナの言論を弾圧する際の公正さをめぐる Meta の議論の内幕

パレスチナ人への憎悪を煽る広告を承認する一方で、 Meta はそのプラットフォーム上で親パレスチナ人の声を抑圧し続けている。 Wall Street Journal は、 Meta が 10 月 7 日以降に社内の方針を変更し、アラビア語で憎悪を抱かせる可能性のあるコメントを検閲するのに必要な確実性の閾値を下げたことについて調査した。記事では、通常、 Meta のアルゴリズムが 80 %の確率で「憎悪的な言論」にあたると判断した場合のみコメントが非表示にされるのだが、アラビア語の投稿が憎悪的な言論にあたるかどうかの判断基準を 25 %に引き下げたことで、憎悪的でないコンテンツが不当に削除される可能性がはるかに高くなったと説明している。WSJ経由で続きを読む

Access Now のニュースレターから最近の動向

- ガザの人々は四面楚歌の中でオンラインを維持しようとしている。新しいテクノロジーがその手助けをしようと奮闘している。

10月9日以来、ガザの人々は断続的なインターネット遮断（日本語）に直面している。イスラエルは、情報の流れをコントロールし、人権侵害を隠蔽し、ガザの200万人以上の住民の恐怖と苦しみを増幅させるために、通信インフラのオン・オフ遮断や攻撃を仕掛けている。電気通信事業の労働者は命がけでインフラを修理しており、イスラエルやエジプトの携帯電話塔に接続するためにeSIMを使っている人もいる。しかし、Access NowのMarwa Fatafta が警告するように、「SIMに弱い信号をキャッチさせるためには、屋上に行かなければならない。それは命を危険にさらすことになる。ある程度は解決策になりますが、ガザの200万人をeSIMカードでつなぐことはできません」。続きをVICEで読む

パレスチナとインターネット—情報遮断と情報戦

これまでにわかっていること

- 空爆などの物理的な破壊によるアクセス遮断
- イスラエル側で回線を遮断
- もともとガザ地区ではG2、西岸地区ではG3までしか利用できないようにイスラエル側のプロバイダーが規制
- 停戦期間中に通信が回復しない可能性もある

パレスチナとインターネット―情報遮断と情報戦

どのような影響が生じているのか

- 戦闘や爆撃などの怪我人を病院に運ぶための救急車を呼べない
- 家族、知人、友人の安否確認ができない
- 現場の状況をSNSなどでリアルタイムで発信できない(戦争犯罪の証拠を保全できない)
- 援助物資に関する情報にアクセスできない
- 人々が団結して行動することができない

パレスチナとインターネット—情報遮断と情報戦

空爆や地上戦とサイバー領域の相互補完関係

- 物理的な通信インフラの破壊
- ハッキングなどのサイバー攻撃
- 自国民の感情や理解のコントロール
  - パレスチナ人への偏見と憎悪の扇動
  - 自国の武力行使を正当化する情報操作
  - マスメディアの従軍取材への便宜
- パレスチナ・アラブ人の情報発信の遮断・抑制
  - 戦闘地域の通信遮断
  - SNS 発信の検閲・抑制
  - 非戦闘員の人道支援の遮断
  - 一般民衆の集団的な行動の弾圧

これらも戦争の一環になっていることへの注目度が低いのではないか？

パレスチナとインターネット—情報遮断と情報戦

対策はないのか？

- プラットフォーマーやプロバイダーの対応を改めさせる運動
- 関係国政府への要求
- eSIMを使ってイスラエル国内から漏れる微弱電波を捕捉する
- エジプト側の電波塔の出力を上げさせる

イスラエル軍に同行する主要マスメディアの報道

(Soapbox) なぜ CNN 、 ABC 、 NBC の記者はイスラエル軍に同行しているのか？

https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/lL23o1t8MEB+sVPr3SlUzxKE6Oq7GJimlS-IJsSFJIo/

原文 https://newrepublic.com/article/176919/cnn-abc-nbc-reporters-embedding-israeli-military-gaza

従軍記者としての条件

- ガザにイスラエル国防軍に同行しているジャーナリストは、現場のイスラエル軍司令官の監視下で活動
- 同伴者なしでパレスチナ自治区内を移動することは許されない
- 発表前にすべての資料と映像をイスラエル軍に提出し、審査を受けなければならない

イスラエル軍に同行する主要マスメディアの報道

(Soapbox) なぜ CNN 、 ABC 、 NBC の記者はイスラエル軍に同行しているのか？

批判

- 従軍記者システムはもともと軍による報道統制の一環として導入されたもので批判的な記者は同行させない
- 軍事訓練を受けていないジャーナリストは自身の安全を軍に依存する。この軍を客観的、批判的に報道することは難しい
- 結果として、軍の意向を汲んだ見方を記者自身の言葉で報じてしまう
- 読者や視聴者に軍による検閲や情報統制の事実を伝えていない場合が多い

イスラエル軍に同行する主要マスメディアの報道

(Soapbox) なぜ CNN 、 ABC 、 NBC の記者はイスラエル軍に同行しているのか？

SNS の時代に従軍記者制度は破綻しつつある？

- 独立系のジャーナリストの登場
- 現地の人々が自分で発信することが可能

「軍がジャーナリストをコントロールすることで情報をコントロールできると考えること自体、いささか時代遅れの考え方だ」「イラク戦争ではブロガーがいたし、今回の戦争でも、インターネットにアクセスできれば、見たことを教えてくれる目撃者がいる」（ジェフ・ジャービス）。

イスラエル軍に同行する主要マスメディアの報道

(Soapbox) なぜ CNN 、 ABC 、 NBC の記者はイスラエル軍に同行しているのか？

•ネット遮断による情報統制が戦時下では重視されるようになっている。

•一般の人々や批判的なジャーナリズムによる発信の回路を遮断して、軍や政府による情報統制力を回復しようとしているのが現在のガザ戦争で起きている事態だ。

だからこそネットへのアクセスを回復させる活動が非常に重要になる。

ヘイトスピーチ、偽情報、イスラエルの政策

パレスチナ人とパレスチナの国旗のアラビア語の機械翻訳の英訳に「パレスチナのテロリスト」と表示される

Palestinian Digital Rights Coalition Calls on Meta to **Stop Dehumanizing Palestinians and Silencing Their Voices**

パレスチナ人の子どものイラストを表示させると銃をもった子どもが表示される

ヘイトスピーチ、偽情報、イスラエルの政策

- Facebook: 個人の暗殺を呼びかけるターゲット広告や、占領下のヨルダン川西岸からヨルダンへのパレスチナ人の強制追放を呼びかける広告を掲載

本来であればこうした広告は、規約に反するので掲載できないはずのものだ。

ヘイトスピーチ、偽情報、イスラエルの政策

Meta など大手 SNS のコンテンツモデレーションポリシーにおける二重基準

- パレスチナ人のコンテンツやアカウントは、不釣り合いなほど高い割合で検閲され、過剰にモデレートされている。パレスチナ人のコンテンツに対するシステム的な偏見と、その結果としてのコンテンツモデレーションポリシーの過剰な実施を示している。
- 一方、ヘブライ語によるイスラエルのコンテンツは十分にモデレートされていないため、パレスチナ人やアラブ人に対するヘイトスピーチや暴力の扇動がプラットフォーム全体に広く拡散。

対抗行動

JOINT STATEMENT FROM CIVIL SOCIETY ORGANIZATIONS:

URGENT CALL FOR TECH COMPANIES TO RESPECT PALESTINIAN DIGITAL RIGHTS IN TIMES OF CRISIS

危機の時代におけるパレスチナ人のデジタルの権利尊重をテック企業に求める　市民社会団体の呼びかけ

https://www.jca.apc.org/jca-net/ja/node/295

10月7日から11日にかけて、7amleh - The Arab Center for the Advancement of Social Mediaは、「X」プラットフォーム上の23,000のヘブライ語ツイートのうち、19,000の暴力的なツイートを記録している。この暴力的な内容には、パレスチナ人に敵対する扇動、ヘイトスピーチ、人種差別が含まれていたが、これらに限ったものではなかった。他方、さまざまなソーシャルメディア・プラットフォームには、偽情報や 誤情報が氾濫し、パレスチナ人へのレッテル貼り、非人間化、ステレオタイプ化を助長している。さらに、イスラエルの公式ページの中には、暴力を賞賛し、民間人に対する攻撃を正当化するものもある。

対抗行動

JOINT STATEMENT FROM CIVIL SOCIETY ORGANIZATIONS:

URGENT CALL FOR TECH COMPANIES TO RESPECT PALESTINIAN DIGITAL RIGHTS IN TIMES OF CRISIS

危機の時代におけるパレスチナ人のデジタルの権利尊重をテック企業に求める 市民社会団体の呼びかけ(続き)

従って、私たちは本日、ハイテク企業に対し、主にヘブライ語で、パレスチナ人を標的にしたオンライン上のヘイトスピーチ、扇動、暴力的言説の事例に早急に対処するよう、一致団結して呼びかける。パレスチナ人に対する暴力の扇動や集団処罰の呼びかけは、オンライン・プラットフォーム、特にXやTelegramで横行している。人権侵害や攻撃の呼びかけは、しばしばイスラエルの高官によって奨励されている。この扇動はバーチャルな領域を超え、致命的な結果をもたらす。

加えて、ソーシャルメディアとメッセージング・アプリの両方で、オンライン・プラットフォームを通じて過去1週間に広く流布された憂慮すべきレベルの偽情報と誤情報に対して、企業は断固とした早急な行動をとる必要がある。このような虚偽で不正確な情報は、現地の出来事をめぐる物語に重大なリスクをもたらしている。

対抗行動

JOINT STATEMENT FROM CIVIL SOCIETY ORGANIZATIONS:

URGENT CALL FOR TECH COMPANIES TO RESPECT PALESTINIAN DIGITAL RIGHTS IN TIMES OF CRISIS

危機の時代におけるパレスチナ人のデジタルの権利尊重をテック企業に求める 市民社会団体の呼びかけ（続き）

この地域を含むグローバル・マジョリティの国にいる人々は、ソーシャルメディア・プラットフォームを、主流メディアで語られていないストーリーを共有するための重要な市民的空間と見なしている。したがって、ソーシャル・メディア・プラットフォームは、より包括的になり、ユーザーのための保護措置を実施することで、この地域における重要な役割を認識しなければならない。（略）

私たちは、ハイテク企業に対し、この地域における重要な役割と責任を認識し、表現の自由を守るために、ビジネスと人権の原則、そして国際人権法を遵守するよう求める。とりわけ、ハイテク企業は、パレスチナの人々に対して現在進行形で行われている口封じや残虐行為に積極的に関与することを控えるべきである。私たちの市民社会組織および人権団体としての集団的責任は、ヘイトスピーチ、扇動、偽情報、および世界中の人々に対するその他のあらゆる技術的危害に反対することである。

対抗行動

APC、パレスチナ人に対する暴力を非難し、すべての人々の人権保護を要求する

https://www.jca.apc.org/jca-net/ja/node/300

この紛争には明らかに不公平な構図がある。パレスチナの地では、何十年もの間、数多くの人権侵害が継続的に行われてきた。これらは国際メディアによってほとんど認識されていない。最近の攻撃が国際メディアに与えた影響は、非常に不釣り合いで偏ったものだ。ソーシャルメディア企業は、憎悪、嘲笑、暴力の呼びかけに目をつぶり、パレスチナ人を標的にしたオンライン偽情報が蔓延している。情報が形成され共有される方法は、イスラエルが持つ不当な特権を反映しており、国際メディアの構造が権力と金によって規定されていることの反映でもある。私たちは、ヘイトスピーチで利益を得る技術プラットフォームによって煽られた偽情報とテクノロジーによる暴力が横行する時代に、体系的な暴力と抑圧がもたらす壊滅的な影響を目の当たりにしている。

APC、パレスチナ人に対する暴力を非難し、すべての人々の人権保護を要求する（続き）

https://www.jca.apc.org/jca-net/ja/node/300

パレスチナで起きていることを理解することは複雑なことではない。それどころか、入植者による植民地支配と民族浄化であることとは明らかなことだ。

私たちは国際社会に対し、人種差別的な植民地構造に反対する声を上げること、そしてパレスチナの領域で不釣り合いな攻撃によって影響を受け、その危険が差し迫っているすべての個人の人権を守ることを求める。

私たちは国際社会に対し、人種差別的な植民地構造に反対する声を上げること、そしてパレスチナの領域で不釣り合いな攻撃によって影響を受け、その危険が差し迫っているすべての個人の人権を守ることを求める。

以下略

対抗行動

人権団体は、ガザと世界中のパレスチナ人に対する物理的・デジタル的な即時停戦に関する公開の呼びかけに加わる

https://www.jca.apc.org/jca-net/ja/node/298

ガザの人々は、軍事占領と、現在ではアパルトヘイトのシステムと理解されているような不正義のもとで56年間暮らしてきたが、ほぼ完全な通信遮断も経験している。情報は途絶え、現地で行われている残虐行為を記録する能力は著しく妨げられている。インターネットへのアクセスが途絶え、通信インフラが標的とされたことで、ソーシャルメディアや主流メディアにおいて、偽情報キャンペーンや戦争プロパガンダの拡散が助長され、現地で行われた残虐行為について、生の情報にアクセスして検証したり、独立した調査を行ったりすることが難しくなっている。

対抗行動

人権団体は、ガザと世界中のパレスチナ人に対する物理的・デジタル的な即時停戦に関する公開の呼びかけに加わる（続き）

https://www.jca.apc.org/jca-net/ja/node/298

グローバルに見れば、パレスチナの声やその大義を支持する人々は、偽情報、検閲、オンライン・ハラスメント、Doxing、シャドーバニングなど、広範なデジタル抑圧キャンペーンによって、声を封じられ、沈黙させられている。日頃から人権の強力な保護を訴えている政府が、オンライン・オフラインを問わず、表現の自由や平和的集会を取り締まることで、イスラエルの無差別攻撃を助長している。同様に、ソーシャル・メディア企業はこれまで、そのプラットフォーム上で憂慮すべきレベルの偽情報や誤報に対処することができず、オフラインでの暴力や 人間性の否定を助長し、民間人に対する攻撃を正当化している。不公平で偏ったコンテンツモデレーションポリシーの過剰な実施と相まって、パレスチナ人を黙らせ、無力化する結果となっている。

Doxing　個人攻撃のために個人情報をWeb上に晒す行為　/シャドーバニング　SNSにおいて投稿したコンテンツが他人のフィードやタイムラインに表示されなくなったり、検索結果に名前がのらなくなったりするような措置がとられること。(Gigazine)

対抗行動

人権団体は、ガザと世界中のパレスチナ人に対する物理的・デジタル的な即時停戦に関する公開の呼びかけに加わる（続き）

https://www.jca.apc.org/jca-net/ja/node/298

現地のイスラエルによる人道的封鎖に加え、 Medical Aid for Palestine （ MAP ）をはじめとする救援団体を狙ったサイバー攻撃により、人道援助の流れも寸断されている。リソースや報道を提供するウェブサイト、通信社、集団は、定期的な DDoS 攻撃に直面し、ウェブサイトがダウンする原因となっている。一方、イスラエルの司法長官は、ガザから 24 時間 365 日の生中継を提供する現地特派員を擁する数少ない国際メディアのひとつであるアルジャジーラの事務所を閉鎖することを承認し、ガザにおける報道の自由と情報へのアクセスをさらに妨げている。

対抗行動

人権団体は、ガザと世界中のパレスチナ人に対する物理的・デジタル的な即時停戦に関する公開の呼びかけに加わる（続き）

https://www.jca.apc.org/jca-net/ja/node/298

要求項目（抄）

•医療、エネルギー、通信インフラを含む民間インフラを無差別に標的とする行為を直ちに中止すること。

•自由を奪われ、その支配下にある人びとの身体的・デジタル上の安全、尊厳、完全性を保護すること（ソーシャルメディアやその他のコミュニケーション・チャンネルにおける人々の好奇の目からの保護を含む）、および偽情報キャンペーンを行わないこと。

•民間人が自由で、信頼でき、安定した、オープンで安全な通信インフラにアクセスできるようにし、彼らが早期警報の受信、人道支援サービスや愛する人々とのコミュニケーション、その他の基本的人権の行使ができるようにすること。

対抗行動

人権団体は、ガザと世界中のパレスチナ人に対する物理的・デジタル的な即時停戦に関する公開の呼びかけに加わる(続き)

https://www.jca.apc.org/jca-net/ja/node/298

•プロパガンダを目的とした、地域やその他の場所でのターゲティング広告サービスを顧客が購入していることを見直すこと

•ハッキング、監視、検閲、その他の脅威からユーザーのアカウントとデータをさらに保護し、不法アクセスに対するインフラを強化するための措置を講じること

•サイバー・ユニットを含むイスラエルの公的機関によって提出された、法律または条項に基づいて行われた政府要請の完全な透明性を確保すること。最低でも、コンテンツの強制執行の種類、アラビア語で削除されたコンテンツの量、制限の法的根拠を含む政府要請の遵守率に関するデータを開示すること。

•ユーザーが経験する可能性のあるサービスの制限、制約、変更について、ユーザーに明確に伝えること。

対抗行動

人権団体は、ガザと世界中のパレスチナ人に対する物理的・デジタル的な即時停戦に関する公開の呼びかけに加わる(続き)

https://www.jca.apc.org/jca-net/ja/node/298

- パレスチナとイスラエルに関連するコンテンツを管理するために機械学習システムが使用されている場合に、その精度、エラー率、機械学習分類子の指標を含め、透明性を提供すること。
- 人権を損なういかなるサイバー攻撃についても十分に調査し、国家や非国家がスポンサーとなったプロパガンダ活動や偽情報の拡散の範囲を制限し、いかなる制限も法の支配と合法性、正当性、必要性、比例性の原則を遵守すること。

JCA-NET のキャンペーン

ガザ・パレスチナの人々のコミュニケーションの権利を支援しよう

署名運動

● 大手のプラットフォーマーが、パレスチナの人々に対して差別的な扱いを繰り返しています。

(7amleh)Palestinian Digital Rights Coalition、Meta にパレスチナ人の非人間化と声の封殺をやめるよう求める署名

https://www.fightforthefuture.org/actions/meta-let-palestine-speak/

日本語による説明

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/meta-let-palestine-speak_jp/

JCA-NET のキャンペーン

ガザ・パレスチナの人々のコミュニケーションの権利を支援しよう

署名運動

ガザとパレスチナの人々と連帯する責任ある AI コミュニティ（AI やコンピュータ・テクノロジーの関係者による署名運動）

https://docs.google.com/document/d/1SAfEjfl2KxTSdvibAs7mqPUI7WPECVUkaog3ZwV3Z1c/edit

日本語訳

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/responsible-ai-community-in-solidarity-with-gaza-and-the-palestinian-people_jp/

JCA-NET のキャンペーン

ガザ・パレスチナの人々のコミュニケーションの権利を支援しよう

署名運動

● パレスチナおよびイスラエルの市民社会組織への資金提供を停止または見直すという欧州各国政府の決定に関する共同書簡

https://www.jca.apc.org/jca-net/sites/default/files/2023-11/Joint%20letter%20-%20Suspension%20and%20review%20of%20funding%20to%20Palestinian%20and%20Israeli%20CSOs%20%28002%29.pdf

日本語訳（機械翻訳）

h
ttps://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/responsible-ai-community-in-solidarity-with-gaza-and-the-palestinian-people_jp/

JCA-NET のキャンペーン

ガザ・パレスチナの人々のコミュニケーションの権利を支援しよう

署名運動

エジプト、ガザに通信網を拡張せよ！（Change.org での署名運動）

https://aadr.network/en/2023/11/14/egypt-extend-telecom-networks-to-gaza-now/

日本語訳

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/aadr_egypt-extend-telecom-networks-to-gaza-now_jp/

JCA-NET のキャンペーン

ガザ・パレスチナの人々のコミュニケーションの権利を支援しよう

e-SIM をガザに贈る運動 https://www.gazaesims.com/

日本語訳

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/gazaesims-com_jp/

ガザに暮す人々のコミュニケーションを確保するために私たちができる支援は多くはありません。このなかで eSIM を贈るという方法は、直接支援できる方法のひとつです。くわしくは JCA-NET のウエッブを参照してください

https://www.jca.apc.org/jca-net/ja/node/307

この記事も参考にしてください。

(Vice/Motherboard) 包囲網の中でオンラインを維持しようとするガザの人々。新しいテクノロジーがその手助けに奮闘している

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/vice_gaza-israel-esims_jp/